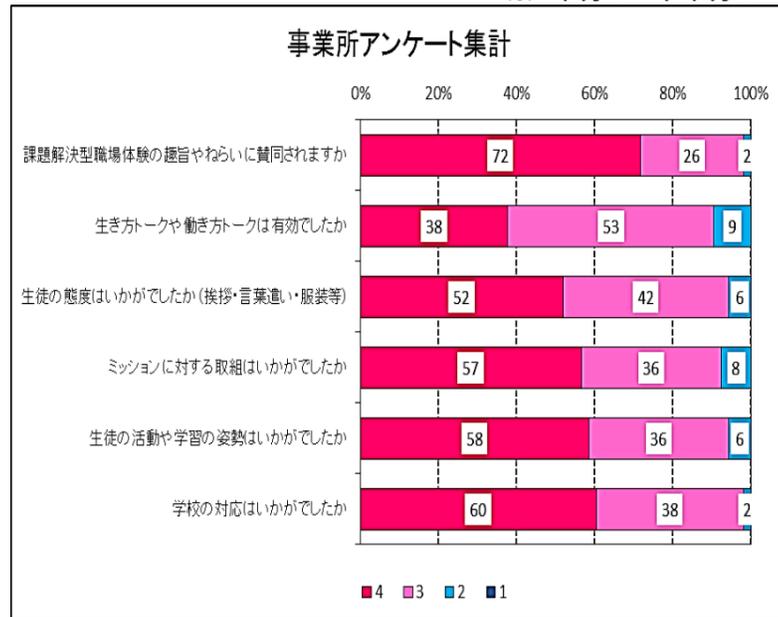


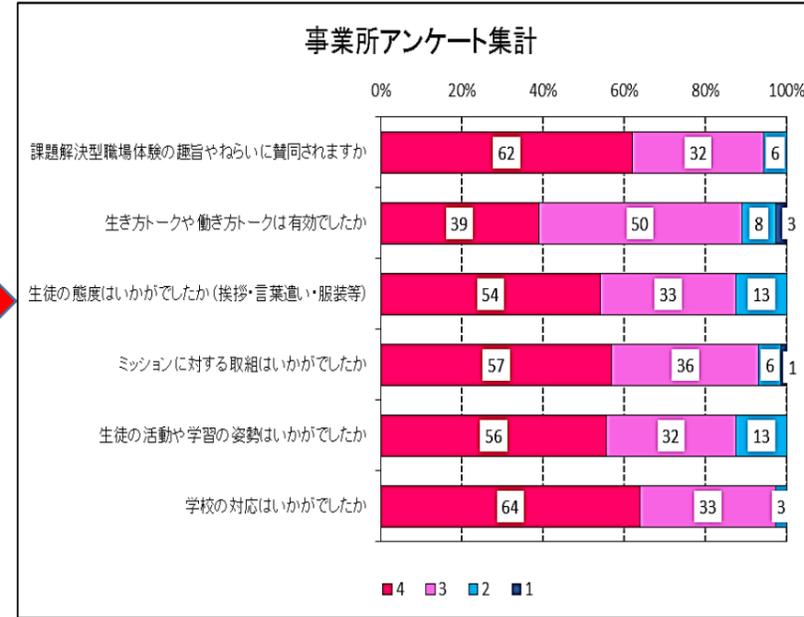
KST 課題解決型職場体験(事業所)集計表

<平成30年度>の結果

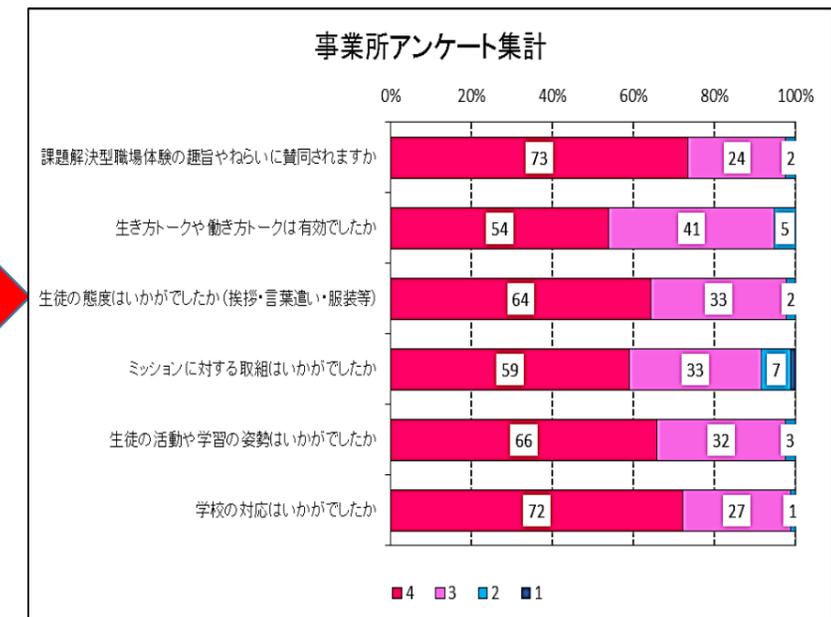
※ 十分4—不十分1



<令和元年度>の結果



<令和2年度>の結果



<R2年度 事業所の感想>

- ・ミッションについて生徒たちがひたむきに取り組む姿勢が見えた。自分たちにはない発想があり、事業所側としても大変勉強になった。これを機会に自分たちの郷土の歴史について興味をもってもらえるとありがたい。
- ・これからは、デジタル時代となり機械やPC処理での作業が増えることになると思う。少しでも楽しい気持ちや自分にこんなことができるのかという自信をもってもらえたらうれしい。とてもよい笑顔や集中した表情、悩んでいる顔を見せてもらった。私たちも初心に戻り、慣れや当たり前になっていることを常に探究してよりよくなるようにしていきたい。
- ・生徒が課題を理解した上で業務体験を行うことにより今までと違った姿勢を感じた。
- ・今回の体験が生徒の進路を決める契機になればありがたい。失敗してもよいので、どんどん質問する力を養っていけるとよい。
- ・挨拶の大切さは理解していても、相手に伝わらない声では意味がない。発表も含めて元気よく相手に伝える発声が必要だと思う。
- ・「こんなふうにやってみたい。」「でも、こうするといいかな。」と生徒間でよく相談したり話をしたりする姿勢がとても素晴らしかった。発表会でも、自分の言葉で自分の思ったことを発表できていて、充実した体験になったのではないかと感じた。この体験が、少しでも将来のヒントになることを願っている。
- ・今年は、当社のユニフォームを着て職場体験に臨んでもらったが、みなさん、とても似合っていた。将来、一緒に働ける人が出てくればありがたい。
- ・「園児と一緒に応援グッズを製作する」ミッションに短い準備期間だったが、素敵な応援グッズが出来上がり、その応援グッズを使っての応援方法も考えてもらった。園児と一緒に製作したり踊ったりすることで、園児への働きかけも学べたと思う。
- ・働くことに必要なコーディネートや商品知識の勉強、それを活かしたディスプレイ作成まで、グループのみんなで協力し合いながら取り組んでいた。また、ミッションに関しても事前にしっかりと準備しており、当日の成果発表はとてもすばらしい出来だった。
- ・提案してもらったお菓子は、試作品を製造してみたいと考えている。
- ・中学生らしく「学ぼう」「感じよう」とする姿に好感をもった。子どもたちの目線に立ち、気持ちに寄り添う保育の大切さを実感してもらえたと同時に、自分たちもたくさんの愛情をもらって成長してきたことを肌で感じてもらえたと思う。「子どもたちから優しい言葉づかいを教えてくださいました。」と、中学生が自分の言葉で伝えてくれたことを嬉しく思う。